

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター この街きっず学園 放課後等デイサービス事業

公表日 2026年3月27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	31		・子どもの状況により、環境を工夫している。	・部屋は十分あるが、強度行動障害などの障がい特性があるため、活動を分けて安心の場を工夫しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	31	1	・特性に合わせた配置をしている。 ・体制が不足するときは、児童発達とも協力し合いながら支援している。	・1:1対応などの手厚い支援が必要な児童（強度行動障がい児）も多いので、最低基準は10:2だが、それではとても厳しい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	31	1	・絵カードでのスケジュール化などの視覚支援。	・職員の情報伝達がスムーズに出来る方法の検討していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	32		・就業前の清掃。夏のテラス日よけの設置等の環境整備。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	32		・個々の子供の状況によって必要に応じて行っている。	・部屋が十分用意されている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	30		日々振り返りをし記録し、職員に周知している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	1	・毎日反省会での記録をもとにみんなで共有している。	・全職員に対し、評価結果内容の共有と周知をしていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29	1	・反省会の記録をもとに話し合いを行っている。	・把握は出来てもフィードバックに時間を要している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3	・外部の相談支援員、学校の教諭等の来訪者からの評価は聞き取っている。	・外部評価機関の設置の有無が不明。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	30		・当園内外、法人内研修を計画的に行っている。	・先進的な研修の機会が減っているので、職員の技術の底上げのために増やしていきたい。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	31		・適切な支援プログラムを作成し公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	30		・支援記録をとり、日々の支援からアセスメントを重ねている。モニタリング会議などで課題を確認し、在籍校と連動した計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	30		・職員の半数が強度行動障がい支援者研修受講、各種の研修に参加する等、特に配慮が必要な子どもへの支援について適時検討を重ねている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	30		・始業前に計画を確認し支援を行っている。 ・職員会で共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	31			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	30		・支援計画に全項目を盛りこんだ目標設定を行い、具体的な支援方法を明記し、ご家族・関係機関と共通認識の上支援が出来るような計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	30		・当番制で日案を作成し、チームで検討しあっている。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	30		・運動、設定、感覚、お楽しみ、季節の行事等の活動テーマを設けて計画している。学校休業日は外出や調理活動、買い物などの社会的活動も取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	30			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31		・支援前のミーティングを行い、活動内容や注意事項を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30		・支援終了後に支援の振り返りを行い書面に残し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	31		・毎日支援の記録を残し、課題点等の振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	30		・モニタリングに参加し、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	29	1	x	・地域交流活動については、感染症状況等もあり慎重な判断が必要であるが、今後はより充実出来るとよい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	31		・活動や遊びの中で選択機会を作り選択を尊重しながら支援を行っている。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	30		・直接支援している職員が参加している。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	30		・適時医療との連携を行い、定期的なモニタリングを行っている。	
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	30		・学校の年間計画の把握や送迎時の引継ぎを行っている。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	30	1	・きつず学園卒園児については、保護者の同意を得たうえで情報共有をしやすい環境にある。サービス調整会議では情報共有だけでなく、在籍していた事業所と連携できるように調整している。	
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	29	1	・学校主催の移行支援会議への出席等により情報共有を図っている。	・十分な量の情報共有が出来ているのか確認が出来ていない。その後の生活について、こちらから様子を知り得る機会が乏しい。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	27	1	・放デイ同士の交流はある。他事業所へ（スーパーバイズ）五領域等の研修を行っている。	・課題に対し、広く助言を求め、事業所だけでなく地域の中で高めあえる関係作りも必要になってくる。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20	8	・地域の公園や公共施設を利用したり、買い物などを通して交流できる機会を取り入れている。	・感染症の動向も踏まえ、あまり行わずにいるが、今後二重と照らし合わせながら計画していきたい。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	27		自立支援協議会の療育支援部会・強度行動障害WGに参加している。	
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	31		・送り迎え、バスでの送迎の際に口頭で伝えるほか、連絡帳を通して行っている。	
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	3	・研修案内等をメール配信やちらし配布等している。	・ベアトレは講師がいなくてなかなか叶わない。引き続き、必要な情報は提供できるようにしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	29		・契約時に説明を行い、問い合わせがあった場合も重ねて説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	31		・日々の子どもや保護者とのやり取りを大切にし、計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	30		・計画更新時に説明を行い同意を得てサインをもらっている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	31		・相談を受け職員で共有し助言・支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24	4	・年間の計画で、親子行事を設けている。	・保護者会は設置していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	30		・担当者等を設置し体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	29		・活動の詳細等その都度通信やメール等で配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31		・十分配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	31		・こまめに連絡をとり、視覚支援等分かりやすいコミュニケーション方法を取っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27	2	・地域のボランティアさんに来ていただき行事企画をしたり、実習生やボランティアの受け入れをしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31		・研修に参加したり、実際に想定した訓練を実施している。災害訓練については、利用児童全員が参加出来るよう、毎月の実施曜日を配慮している。	・保護者へ重要性を周知することが難しく、事業所との認識の差が生じやすい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31		・定期的な訓練の実施をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	31		・書面で確認をし、定期的に情報の更新をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	31		・医師の指示書に従っている。部屋を分けたり、パーティションを使用し工夫している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	30		・安全改革を作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	28			・作成しているが、ご家族への周知がしっかりとできるようにしたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	31		・一日の振り返りを行い共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31		・虐待防止研修等を実施し全職員が受講している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	30				